

健康保険被扶養者（異動）届（増・減） ※増・減 いずれかに○

令和 年 月 日 提出

事業主記入欄	事業所 名称			事業主 氏名		
	事業所 所在地					
	電話 番号					
	☐ この届出については、①又は②の要件を満たしたものである。 ①申請者本人（被保険者）が作成したものである。 ②記載内容については誤りがないか申請者本人が確認している。					
	事業主が確認した 場合に記入してくだ さい。	確認	収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の 控除対象配偶者・扶養親族であることを確認しました。			
	確認	被保険者との続柄に関する証明書類が省略されている者については、 続柄を確認しています。				

受付印

社会保険労務士記入欄

被 保 険 者 欄	被保険者 記号・番号			生年 月日			1.昭 2.平 3.令	年		月		日	性別	1.男 2.女	標準報 酬月額		千円	年収		円
	氏名	(フリガナ) (氏)	(名)		取得 年月日			1.昭 2.平 3.令	年		月		日	住民票 住所	〒					

↓被扶養者の方で、住民票住所と現住所が異なる方は両方を記載してください。

被 扶 養 者 欄 1	氏名	(フリガナ)			被扶養者 状況コード	―裏面(2ページ)の被扶養者状況コード(A-1～C-10)から、該当するコードをご記入ください。											
		(氏)	(名)			生年 月日			1.昭 2.平 3.令	年		月		日	性別	1.男 2.女	続柄
	住民票 住所	〒			同居	海外居住者又は海外 から国内に入転した 場合は右欄を記入し てください。	海外特例 要件	海外特例要件 該当	理由			1.留学 2.同行家族 3.特定家族 4.海外婚姻等 5.その他()					
		別居			別居	海外居住者又は海外 から国内に入転した 場合は右欄を記入し てください。	海外特例 要件	海外特例要件 非該当	理由			1.国内転入 (令和 年 月 日) 2.その他 ()					
	該当	被扶養者に なった日	令和		年		月		日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小.中学生以下 5.高.大学生 6.その他()		年収		円	理由	1.出生 2.離職 3.収入減 4.同居 5.その他()
非該当 変更	被扶養者で なくなった日	令和		年		月		日	理由	1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他()		現住所					

被 扶 養 者 欄 2	氏名	(フリガナ)			被扶養者 状況コード	―裏面(2ページ)の被扶養者状況コード(A-1～C-10)から、該当するコードをご記入ください。											
		(氏)	(名)			生年 月日			1.昭 2.平 3.令	年		月		日	性別	1.男 2.女	続柄
	住民票 住所	〒			同居	海外居住者又は海外 から国内に入転した 場合は右欄を記入し てください。	海外特例 要件	海外特例要件 該当	理由			1.留学 2.同行家族 3.特定家族 4.海外婚姻等 5.その他()					
		別居			別居	海外居住者又は海外 から国内に入転した 場合は右欄を記入し てください。	海外特例 要件	海外特例要件 非該当	理由			1.国内転入 (令和 年 月 日) 2.その他 ()					
	該当	被扶養者に なった日	令和		年		月		日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小.中学生以下 5.高.大学生 6.その他()		年収		円	理由	1.出生 2.離職 3.収入減 4.同居 5.その他()
非該当 変更	被扶養者で なくなった日	令和		年		月		日	理由	1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他()		現住所					

被 扶 養 者 欄 3	氏名	(フリガナ)			被扶養者 状況コード	―裏面(2ページ)の被扶養者状況コード(A-1～C-10)から、該当するコードをご記入ください。											
		(氏)	(名)			生年 月日			1.昭 2.平 3.令	年		月		日	性別	1.男 2.女	続柄
	住民票 住所	〒			同居	海外居住者又は海外 から国内に入転した 場合は右欄を記入し てください。	海外特例 要件	海外特例要件 該当	理由			1.留学 2.同行家族 3.特定家族 4.海外婚姻等 5.その他()					
		別居			別居	海外居住者又は海外 から国内に入転した 場合は右欄を記入し てください。	海外特例 要件	海外特例要件 非該当	理由			1.国内転入 (令和 年 月 日) 2.その他 ()					
	該当	被扶養者に なった日	令和		年		月		日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小.中学生以下 5.高.大学生 6.その他()		年収		円	理由	1.出生 2.離職 3.収入減 4.同居 5.その他()
非該当 変更	被扶養者で なくなった日	令和		年		月		日	理由	1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他()		現住所					

被保険者の配偶者が被扶養者ではないとき (例：夫婦共働きの場合)は記入してくださ	配偶者の年収見込額	円
---	-----------	---

※被扶養者の「該当」と「非該当（変更）」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の用紙で提出してください。

受付印

扶養に関する申立書（添付書類の内容について補足する事項がある場合に記入してください）
--

添付書類一覧

1. 申請に必要な添付書類

↓被扶養者状況コード(該当しない場合は空欄のまま、「扶養に関する申立書」の欄に詳しくご記入ください)

配偶者	A-1	収入なし		ここ数年は無職	①③
	A-2			職を退職した	①②⑪
	A-3			個人事業を廃業した	①⑧
	A-4			失業保険の受給終了	①⑤
	A-5	収入あり	無職	失業保険受給中	①⑤⑪
	A-6			年金収入	①③⑥
	A-7		有職	給与収入あり	①④
	A-8			事業収入あり	①③⑦
	A-9			給与と年金あり	①③④⑥
	A-10			事業収入と年金あり	①③⑥⑦
子 （実子のみ）	B-1	収入なし	16歳未満	乳児・幼児・学生	①⑩
	B-2			養子縁組した	①⑨⑩
	B-3		16歳以上	学生	①⑩
	B-4			養子縁組した	①⑩
	B-5			ここ数年は無職	①③⑩
	B-6			職を退職した	①②⑪⑩
	B-7			個人事業を廃業した	①⑧⑩
	B-8	収入あり	無職	失業保険受給中	①⑤⑩
	B-9			年金収入	①③⑥⑩
	B-10		有職	給与収入あり(学生含む)	①④⑩
	B-11			事業収入あり	①③⑦⑩
	B-12			給与と年金あり	①③④⑥⑩
	B-13			事業収入と年金あり	①③⑥⑦⑩
その他の続柄	C-1	収入なし		ここ数年は無職	①③⑨
	C-2			職を退職した	①②③⑨⑪
	C-3			個人事業を廃業した	①②③⑨
	C-4			失業保険の受給終了	①③⑤⑨
	C-5	収入あり	無職	失業保険受給中	①③⑤⑨
	C-6			年金収入	①③⑥⑨
	C-7		有職	給与収入あり	①③④⑨
	C-8			事業収入あり	①③⑦⑨
	C-9			給与と年金あり	①③④⑥⑨
	C-10			事業収入と年金あり	①③⑥⑦⑨

記入方法

1. 被保険者欄

- ・被保険者記号・番号：記号・番号をご記入ください。
- ・氏名：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- ・生年月日：年号は該当するものを○で囲んでください。
- ・性別：該当するものを○で囲んでください。
- ・標準報酬月額：被保険者の申請時の標準報酬月額をご記入ください。
- ・年収：被保険者の今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。
- ・住所：住民票の住所をご記入ください。

2. 被扶養者欄

- ・氏名：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- ・続柄：被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「父」、「母」等と記入してください。
- ・住所：被保険者と同居または別居のいずれかを○で囲み、同居の場合は住所記入は不要です。別居の場合は、住所欄に住民票の住所をご記入ください。
- ・被扶養者状況コード：上記のコード(A-1～C-10)から、該当コードを選びご記入ください。
- ・被扶養者になった日：被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日をご記入ください。
- ・年収：今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含まれます。非課税対象の収入がある場合は、受取金額が確認できる書類のコピーを添付の上、「備考」欄に具体的な内容をご記入ください。
- ・理由：被扶養者となった理由を○で囲んでください。ただし、『被保険者資格取得届』(被保険者入職時)と同時に提出する場合は記入不要です。
- ・被扶養者でなくなった日：死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。
- ・海外特例要件：海外特例要件該当・非該当のいずれかを○で囲み、理由をご記入ください。海外特例要件非該当で国内転入の場合は転入した日をご記入ください。
- ・備考：被扶養者情報に変更がある場合は、変更の内容とその理由をご記入ください。
- ・配偶者の年収見込額：配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。

これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。

	添付書類（コピー可）	入手先
①	世帯全員の住民票	市区町村役場
②	退職証明または離職票 2	前勤務先
③	所得証明書または非課税証明書	市区町村役場
④	直近3か月分の給与明細 ※新規就労は雇用契約書等	現勤務先
⑤	雇用保険受給資格者証（両面）	ハローワーク
⑥	年金振込通知書	年金事務所
⑦	確定申告書・収支内訳書 （+青色申告決裁書）	-
⑧	廃業届	-
⑨	その他扶養義務者の上記③	市区町村役場
⑩	被保険者の配偶者の収入証明 （源泉徴収票 所得証明 等） ※配偶者が当健保の被扶養者の場合は不要	
⑪	失業保険給付に関する誓約書	

2. 該当する場合に提出が必要な書類

別居および 海外在住者 (単身赴任は 同居扱い)	・被扶養者現況申立書 ※16歳未満と学生は省略可
内縁の妻 養子 連れ子	戸籍謄本
孫	戸籍謄本、孫の両親の上記③
障がい者	年金手帳
外国籍	・在留カード ※在留資格が「特定活動」の場合は指定書